

『中核市』移行へ！

平成27年10月9日「中核市指定の申出」を総務省 高市総務大臣に朝長市長と共にいたしました。要件緩和後はじめての申出ということで、総務省も大変歓迎してくれました。移行は来年4月を目指しています。

民生・福祉、環境・まちづくり、教育・文化の各分野において長崎県が担ってきた600項目余りの事務項目を新たに佐世保市が担う事になり、市民生活に関わりの深い事務権限が移り、事務効率化が図られ、住民に身近できめ細かな行政サービスを提供できるようになります。

★中核市のメリット

【民生・福祉】

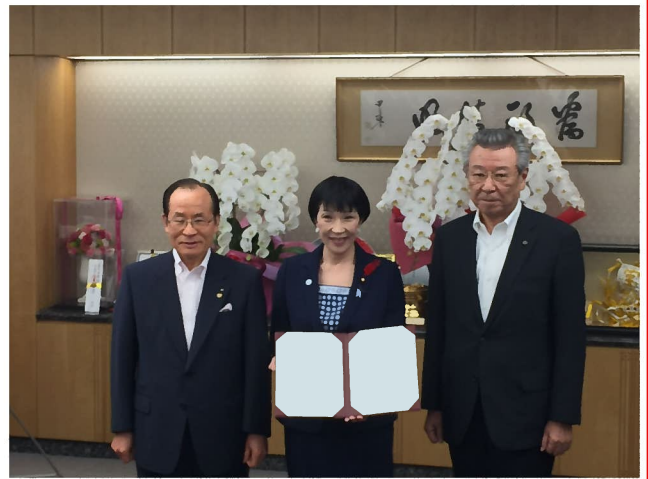
- 地域の実情やニーズを踏まえた民生委員の人数の決定や研修の実施
- 身体障害者手帳の交付や母子父子寡婦福祉資金の貸付のよりスムーズな対応
- 社会福祉施設の認可などに関する諸手続きが可能に

【教育・文化】

- 教職員研修を教育現場により身近な場所で市のカリキュラムで実施
- 文化財の保護に関する適切な管理

【環境・まちづくり】

- 大気汚染防止、ダイオキシン類に関する届出や監視の強化
- 良好な景観形成のための屋外広告物の表示などに関する規制・誘導



中核市同意書受取り（知事・保健環境連合会定期総会 県議会議員）



佐世保市PTA連合会懇親会 母子寡婦福祉連合会定期総会



シルバー人材センター定期総会 国境離島新法制定宇久・小値賀総決起大会 長崎県西九州自動車道建設促進期成会総会 主要地方道佐世保吉井松浦線（大渡工区）開通式 平成27年度椋呂路・板山トンネル建設促進期成会

佐世保市『まち・ひと・しごと創生総合戦略』

佐世保市におきましては『まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）』を～市民と行政の連携による佐世保市の新たな挑戦～と題して策定を進めています。平成27年10月末、市議会了承後に国へ提出されます。

【検討課題】

1. 佐世保市の将来人口予測
2. 定住人口対策の基本的な考え方
3. 人口減少に対応する3つの視点
4. 将来の人口ビジョン
5. 目指すべき将来の方向
6. 総合戦略4つの基本目標
7. 基本目標の成果指標

国推計佐世保市人口予測

| | |
|-------|--------|
| 2040年 | 19.4万人 |
| 2060年 | 14.6万人 |

【3つの視点】

- I. 出生率
- II. 転入転出
- III. 中核市要件の20万人維持

中核市維持

佐世保市人口目標

| | |
|-------|--------|
| 2040年 | 21.5万人 |
| 2060年 | 20.0万人 |

【基本目標】

- I. しごとづくり
未来につなぐふるさと産業づくり
- II. ひとの流れ
「夢をかなえるまち」
- III. 結婚・出産・子育て
多様なライフスタイルに対応
- IV. 地域づくりと広域連携
住民主体の地域づくりと西九州北部地域の広域連携



第60回三川内陶器市 フェリーくろしま船祝